



第 I 部 中国及び中国人

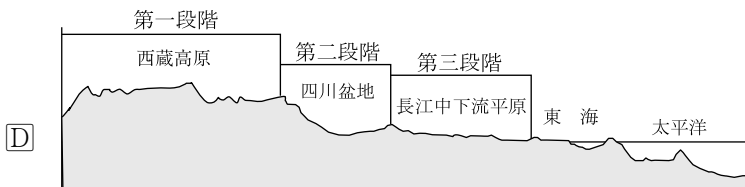
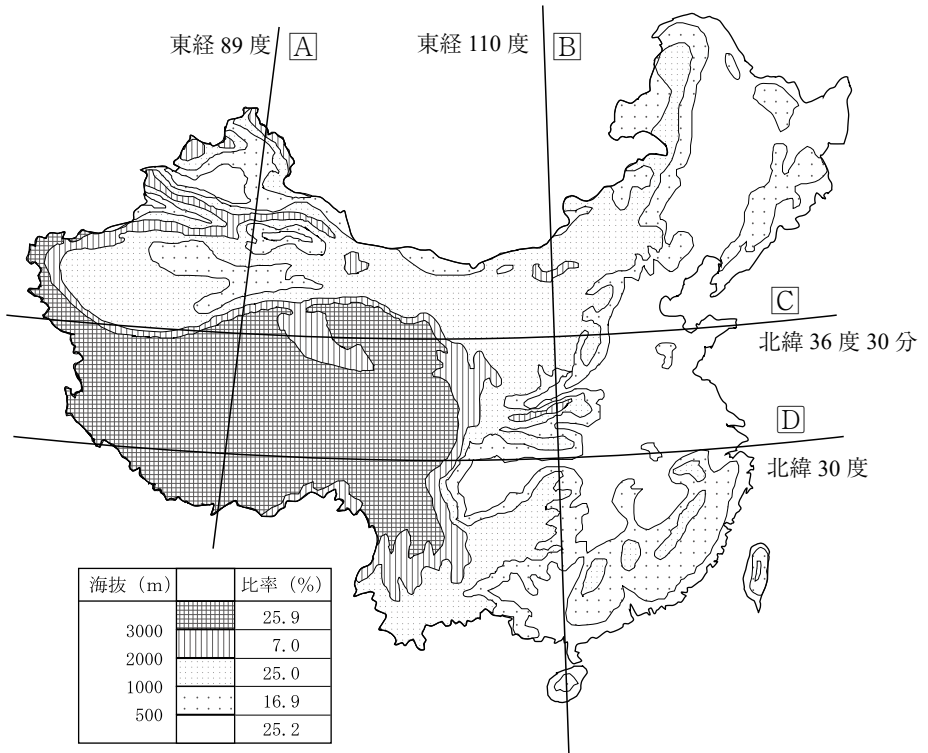
1. 中国の地理
2. 中国の気温と降水量
3. 中国の行政区画
4. 中国の人口
5. 第 13 次 5 カ年計画（2016 ～ 2020 年）の主要指標
6. 日米中 GDP の国際的地位（1980 ～ 2021 年）

<http://www.21ccs.jp/>

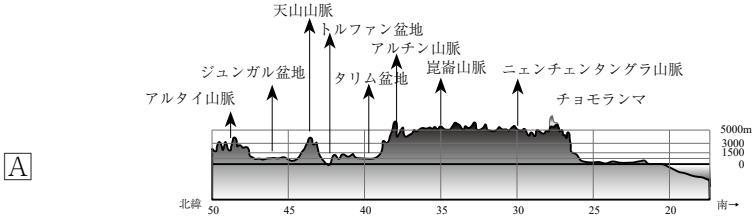
1. 中国の地理

1 - A. 国土の地勢

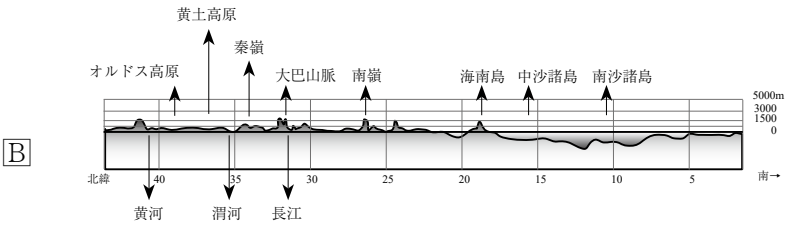
中国の地勢は、西高東低である。最上段は西南部の青蔵（青海・チベット）高原で、「世界の屋根」と称されている。中段は海拔 2000 ~ 1000 メートルの地域で、三つの大高原（内モンゴル高原、黄土高原、雲貴〔雲南・貴州〕高原）と三つの盆地（タリム盆地、ジュンガル盆地、四川盆地）がある。下段は、1000 メートル以下の地域で、三つの大平原（東北平原、華北平原、長江中下流平原）が広がっている。



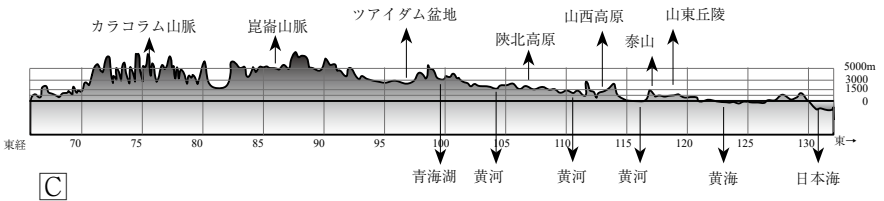
北緯 30 度付近の地形断面図



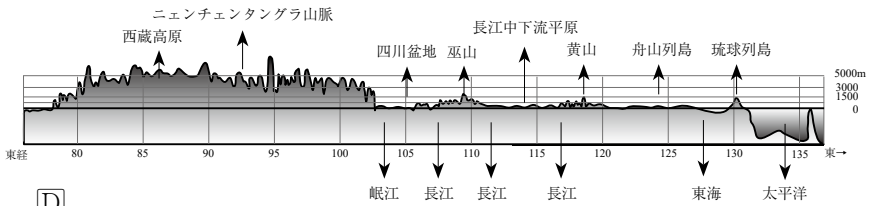
東経 89 度付近断面図



東経 110 度付近断面図



北緯 36 度 30 分付近断面図



北緯 30 度付近断面図

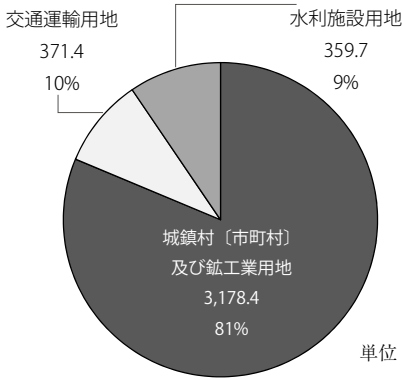
1 - B. 土地利用



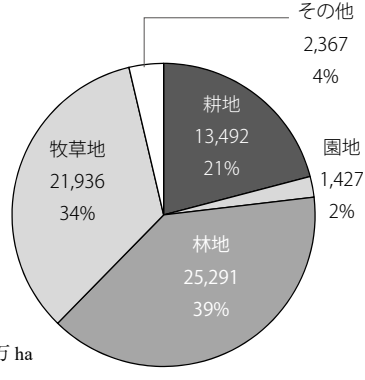
項目	単位	2010年	項目	単位	2010年
国土面積	万km ²	960	耕地面積	万 ha	12,172
海域面積	万km ²	473	林地面積	万 ha	30,590
大陸海岸線長	万km	1.80	森林面積	万 ha	19,545
島嶼面積	万km ²	3.87	森林被覆率	%	20.36

注：森林資源は2004～2008年調査数。
 (資料)『中国統計年鑑』2011年版

①全国建設用地状況（2016年末）

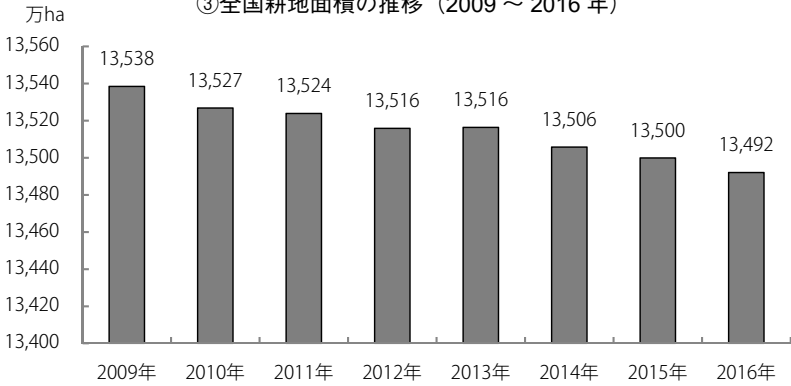


②全国用地状況（2016年末）

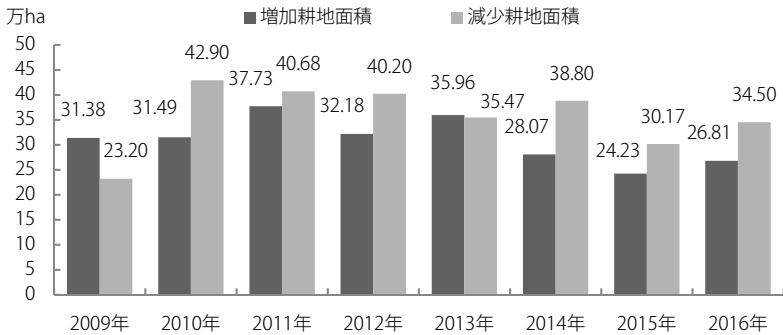


単位：万 ha

③全国耕地面積の推移（2009～2016年）



④耕地増減の推移（2009～2016年）



（資料）「2017 中国土地矿产海洋資源統計公報」

2. 中国の気温と降水量

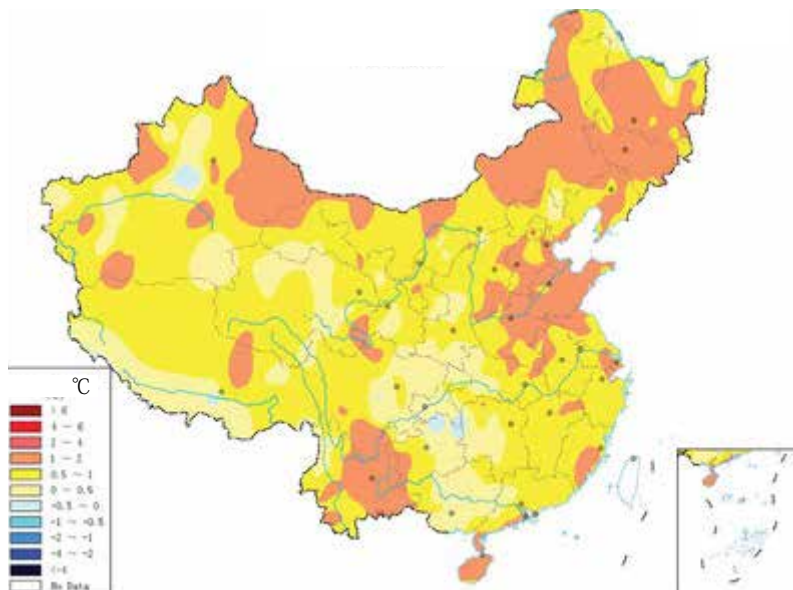
2 - A. 中国の気温と降水量の推移

2019年の全国平均降水量は645.5mmで平年より2.5%多く、前年より4.2%少なかった(図③)。2012年以来8年多雨が続いている。1-4月、7-8月、10月、12月の降水量が多く、中でも2月が32%増であった。逆に9月、11月は少なく、11月は28%減であった。地域的には、北方の多くで降水量が多く、南方で平年並み或いは少な目で

①全国年平均気温の経年変化(1952～2019年)

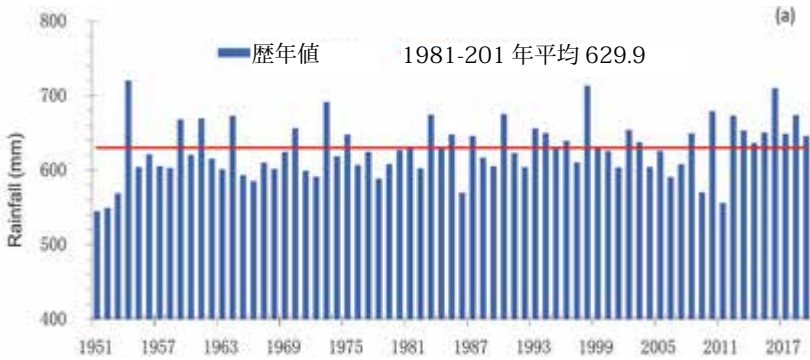


②全国年平均気温分布図(2019年)

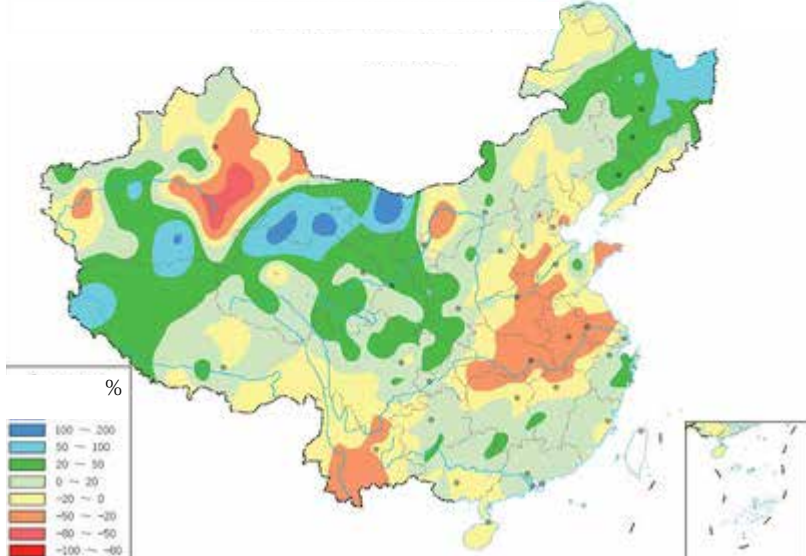


あった。2019年の全国平均気温は10.34℃で平年(9.55℃)より0.79℃高かった(図④)。全国六大地区の平均気温は平年より高く、東北で1.1℃、華南で0.8℃高かった。省市自治区では、雲南、広東、河南、海海の4省が歴史上最高、福建、山東、遼寧が歴史上2位、天津、河北、吉林、黒龍江が3位となった。降水量を省レベルで見ると(図①)、21省で平年より多く、寧夏42%増、青海29%増であった。10省で平年より少なく、遼寧では17%減であった。気温を省レベルで見ると(図②)、31省すべてで平年より高く、江蘇、河南で歴年3位の高さであった。

③全国年平均降水量の経年変化(1961～2019年)

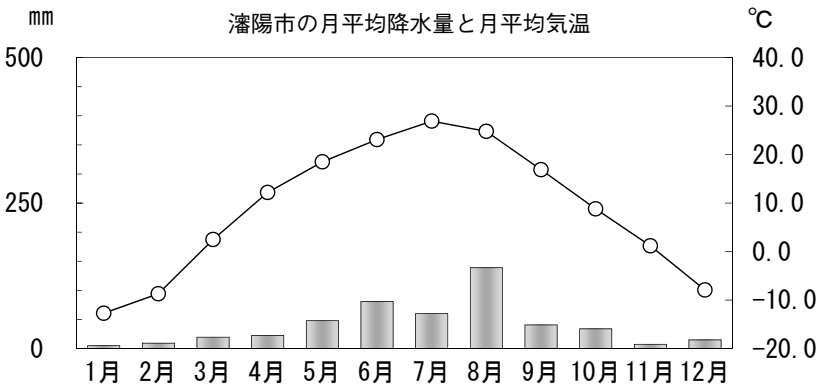
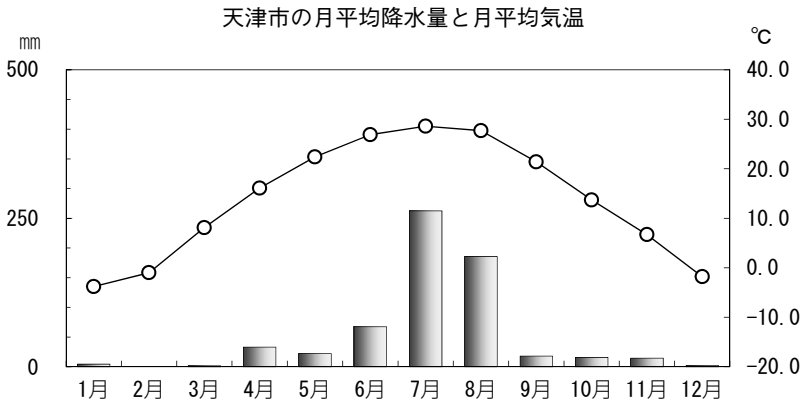
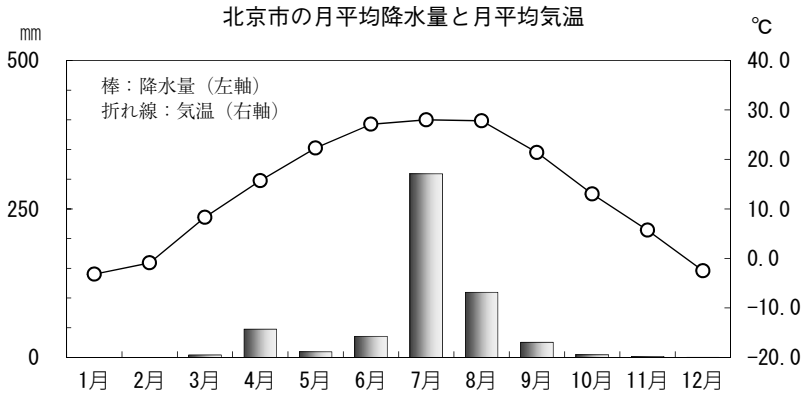


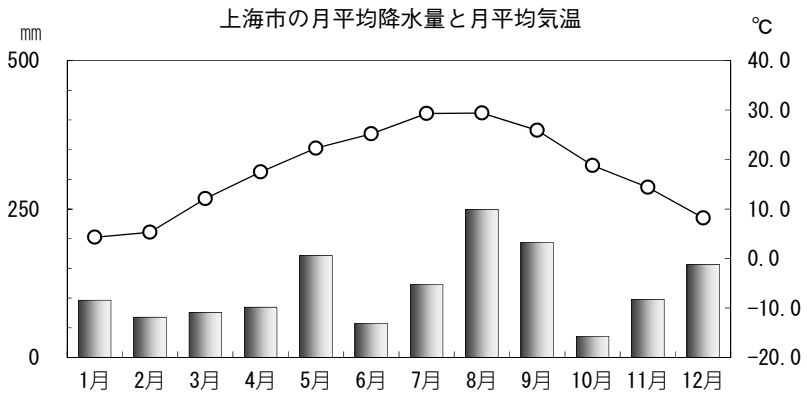
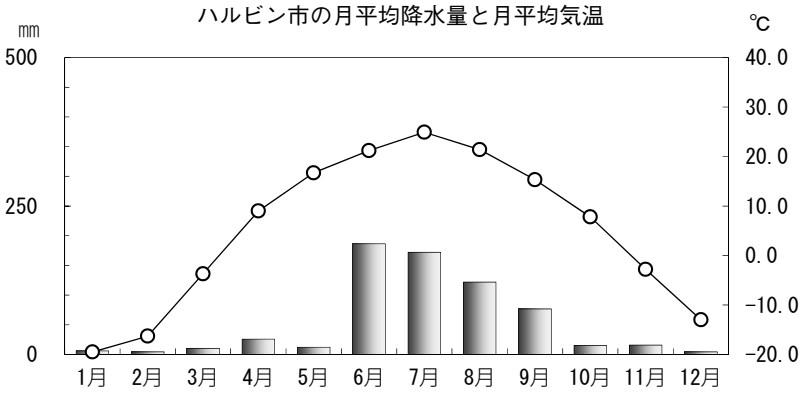
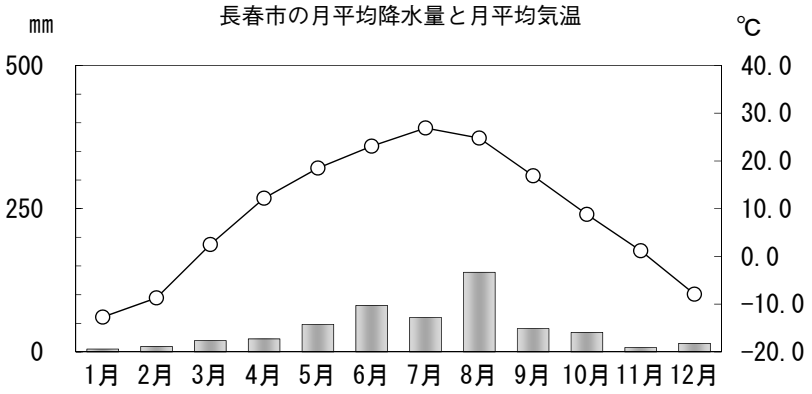
④全国年平均気温分布図(2019年)



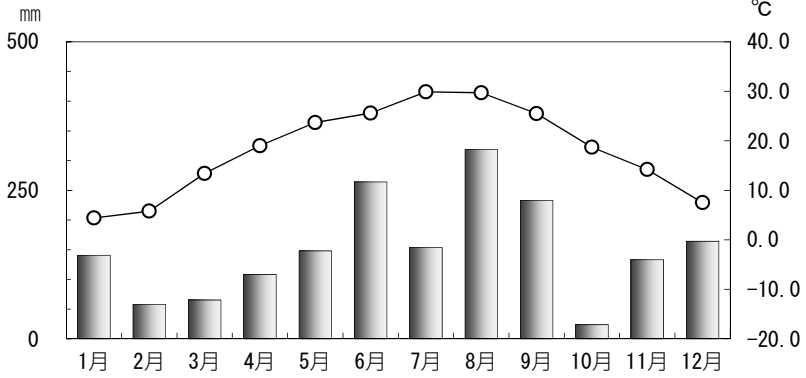
(資料) 中国気象局与気候変化司「中国気候公報」2019年報

2-B. 主要都市の気温と降水量（2019年）

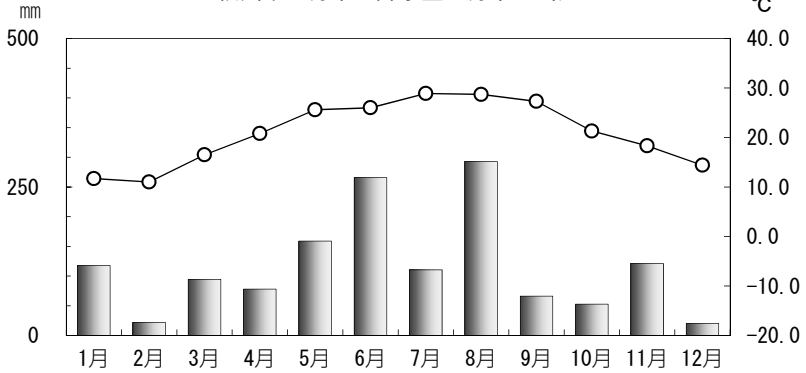




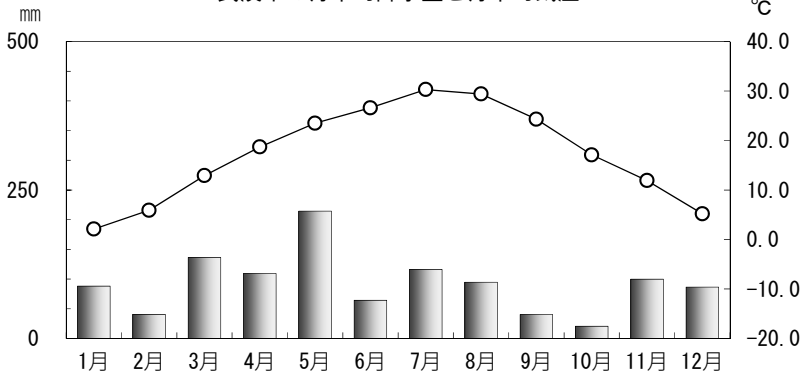
杭州市の月平均降水量と月平均気温



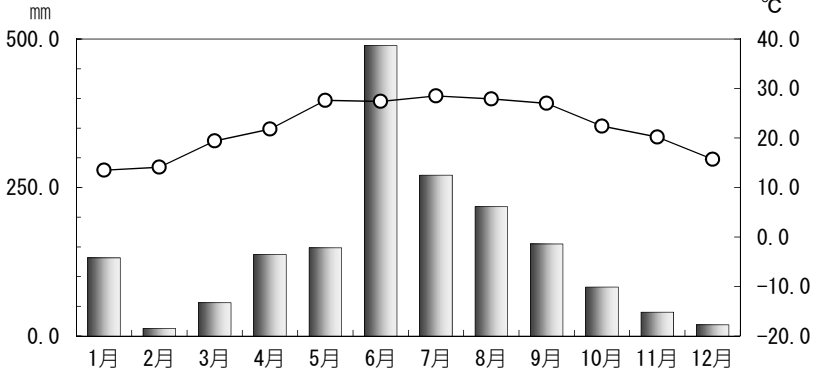
福州市の月平均降水量と月平均気温



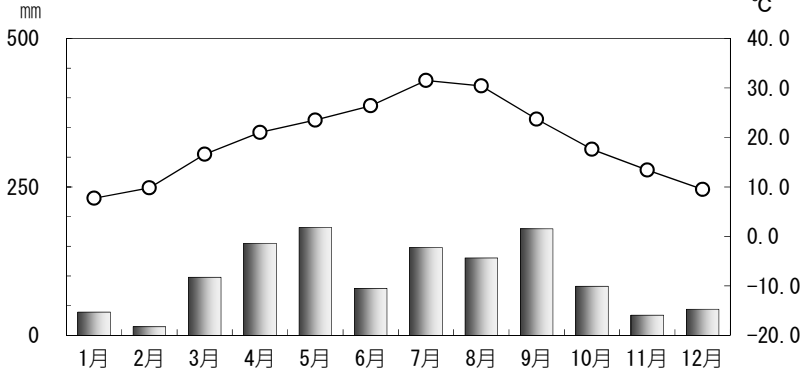
武漢市の月平均降水量と月平均気温



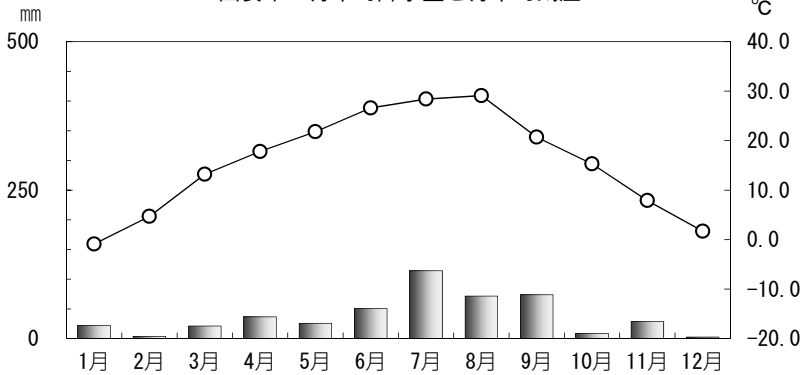
広州市の月平均降水量と月平均気温



重慶市の月平均降水量と月平均気温



西安市の月平均降水量と月平均気温



(資料) 『中国統計年鑑』2019年版